

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表・児発)

公表:平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 スタジオそら学芸大学

保護者数(児童数)50名 回収数30 割合 60%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	12	4	0	3人以上になると狭いと感じるスペースは十分ではないが狭いなりに工夫されていると思う	制限がある中でどのような活動が効果的か都度検討していく。大部屋(運動部屋)と小部屋(机上課題部屋)を活用していく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	8	2	3	マンツーマンでよく見てもらっている専門の先生がいるとありがたい継続的な支援や見守りという点では退職者が多いことが残念先生によってスキルに差がある	配置数は法令を満たしている。社内・社外の研修に参加し、専門性の向上を図る。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	6	1	0	子どもにもわかりやすい掲示・表示がされている階段や段差がありバリアフリーとは言い難い。分りやすく工夫されているがバリアフリーではない	建物の構造上、完全なバリアフリーは難しい。引き続き、子どもに分かりやすいスタジオ内部の構造化を進める。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	24	4	2	0	着替えと手洗い場が一緒なので、着替えるだけの子どもであれば別の部屋を使用した方がいいのではないかとと思う 空気の入れ替えを定期的に行って欲しい トイレは幼児に使いやすい補助用便座や階段があると良いと思う 髪の毛が落ちてることがある 玄関周りが臭いと感じることがある	着替える場所は状況を見て別室を使用していく。 定期的な空気の入れ替えを行う。 その他必要に応じて物品の購入等の検討を図る。
適切な 支援の内容	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	27	1	2	0	半年間は長いと感じる途中で新たな課題をお願いしたが取り入れてもらっていない親の意見もきちんと支援計画に取り入れてくれている満足している出来ないことを無理に練習させようとしている	支援計画に対しスモールステップで療育を行い、継続して支援の充実化を図る。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	2	0	4	適切な支援が行われていると思う満足している	継続して支援の充実化を図る。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	29	1	0	0	計画にあったプログラムを提供してくれていると思う計画は子どもによってはもう少し短期で再考されるべきだと思う	継続して支援の充実化を図る。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	23	7	0	0	屋外や特別プログラム等、工夫してもらっていてありがたい工夫してもらっていると思うが、先生による机上プログラムは飽きやすい	継続して支援の充実化を図る。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	7	4	8	11	今のところは分からない幼稚園に通園しているため必要としていない	状況に応じて機会を設定していきたい。
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	27	1	0	2	利用開始時に丁寧に説明を受けた変更点やお知らせ等はいつも丁寧にしてもらっている書面等ではもらっている	継続して支援の充実化を図る。

保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援の説明がなされたか。	24	3	1	2	説明を受けた保護者と話す場所が無さすぎる	継続して支援の充実化を図る。建物構造上、部屋数が限られているが、都度配慮していく。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)行われているか。	6	7	8	9	たまにアドバイスをもらうことがある言われたことがない 家庭での対応についてあまり相談する時間がない	ペアレントトレーニングについては支援が充実していない。外部研修等の機会を通じ、知識を得るとともに、保護者参加の講演等の機会を検討していく。
	⑬	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	18	7	4	1	丁寧に説明して下さりありがたい先生によってバラツキがある 子どもの日頃の様子について話し合う時間は取れていない 普段からそこまで興味を持たれている印象がないので相談をしづらい	フィードバックを行っているが時間が限られているため、面談希望があれば随時行う環境設定をしていく。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	15	8	5	2	支援計画の説明以外に面談をしたことがない 今後の進路について相談等出来る時間が欲しい こちらから言えば出来る	フィードバックを行っているが時間が限られているため、面談希望があれば随時行う環境設定をしていく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	2	5	10	13	一度開催されたことは知っているが仕事で参加出来なかった 必要性をあまり感じていない	昨年、固定化に伴う保護者会を実施した。 ニーズが少ないと感じているが、必要に応じて講演等の企画を検討する。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	18	7	3	2	先生たちが忙しいので、フィードバック以外に相談出来る感じではない 柔軟に対応してもらいたい 相談したことに対しては真摯に対応してもらっていると感じている	フィードバックを行っているが時間が限られているため、面談希望があれば随時行う環境設定をしていく。
	⑰	子どもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	19	8	1	2	フィードバックの際、親側からも見ていてどうだったのか話せる時間がもう少しあると良いと思う きちんと説明してもらっているメールが多い	フィードバックの時間が限られているが、意識的に保護者の意見を伺うようにし、支援の充実化を図る。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	17	7	1	5	毎月お手紙をもらっているのだからたい把握できている	継続して支援の充実化を図る。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	22	3	1	4	面談をしていても話し声が筒抜けになっている 完全個室がないので、面談時他の保護者に声が聞こえていないか心配	建物構造上、部屋数が限られているが、都度配慮していく。
非常時の対応	⑳	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか。また発生を想定した訓練が実施されているか。	23	2	0	5	マニュアルがあることは知っているが説明を受けたことはない	各種マニュアルは、整備の上、保護者スペースに閲覧可能としている。内容の周知を図る。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	3	0	4	避難訓練を受けた訓練は療育時間に入れないで欲しい	法令上、年2回の避難訓練の実施が義務付けられている。(原則利用者全員が参加出来るよう計画しなければならぬ)実施内容の周知を図る。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	25	5	0	0	毎回楽しみに通っている 出来るようになって自信になっている 毎回意欲的に参加できている 時と場合による	継続して支援の充実化を図る。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	24	4	2	0	今後は親のサポートも希望する 指導するときに風邪の症状があればマスクをしてほしい 利用人数が多いため、生活スタイルが変わったときに予約が取れなくなるのではないかと不安 机上の課題にはもう少し配慮して欲しい 子どもと相性のいい先生、合わない先生がいる 引継ぎをし、前回の様子を踏まえた上で支援をして欲しい	面談実施の環境調整を図る。 前回の様子を踏まえた上で、お子様ひとりひとりにあった課題(プログラム)を提供していく。 引き続き、支援の充実化を図る。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。